

取扱説明書

ギター・アンプ



KATANA-50
KATANA-100
KATANA-100/212
KATANA-HEAD
KATANA-Artist

本書は、KATANA-50、KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD、KATANA-Artist 共通の取扱説明書です。

特定の機種の説明は、**50 / 100 のみ**、**100 / HEAD のみ**、**100 / HEAD / Artist のみ**、**HEAD のみ**、**HEAD / Artist のみ**、**Artist のみ** アイコンで区別しています。

※ KATANA-100とKATANA-100/212の操作方法やパネルの仕様はすべて共通です。



KATANA-50

KTN-50

50W 出力、30cm (12 インチ) スピーカー搭載



KATANA-100

KTN-100

100W 出力、30cm (12 インチ) スピーカー搭載



KATANA-100/212

KTN100/212

100W 出力、30cm (12 インチ) スピーカー ×2 搭載



KATANA-HEAD

KTN-HEAD

100W 出力、12cm (5 インチ) スピーカー搭載



KATANA-Artist

KTN-Artist

100W 出力、30cm (12 インチ) スピーカー搭載

BOSS ギター・アンプ「KATANA」

ライブ・パフォーマンスに最適なオール・イン・ワン・ギターアンプ

主な特長

- アンプ・サウンドは、ロックに最適な BOSS WAZA HEAD ゆずりのエッジの効いた「ブラウン」をはじめ、クリーン、クランチ、リードのオリジナルな 4 種類を搭載。
- 操作が簡単で高品質な、BOSS エフェクトを搭載 (同時使用 3 種類)。シンプルな本体操作に加えて、専用ソフトウェアで PC でのエディットにも対応。
- パワー・コントロール機能により、アンプ・サウンドを好みの音量へ調節可能。また、スタンバイ (MUTE) も装備。
- アコースティック・ギターにも使えるアコースティック専用アンプも搭載。
- コンボ・アンプは、演奏時のモニターをしやすいキャビネット傾斜機能を装備 (KATANA-50、KATANA-100、KATANA-100/212)。
- ヘッド・アンプは、単体で練習可能な小型スピーカーを搭載 (KATANA-HEAD)。
- GA-FC フット・コントローラー (KATANA-50 を除く) や FS シリーズ・フットスイッチを使った足元でのコントロールが可能。
- 持ち運びの良さを考慮した、小型・堅牢のキャビネットを採用。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』（P.2）と『使用上のご注意』（P.3）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2016 ローランド株式会社

マークについて 本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットを開けないでください。	
注意： 感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。		



このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	○は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、○の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

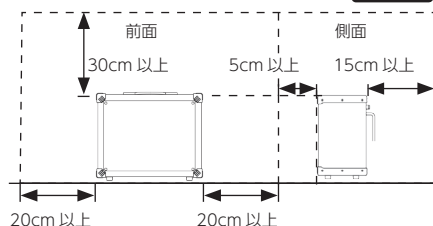
完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



警告

次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



警告

大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様が使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.6）。



⚠ 注意

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。



定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



⚠ 注意

上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



⚠ 注意

落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。

- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかけられないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- エクспレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

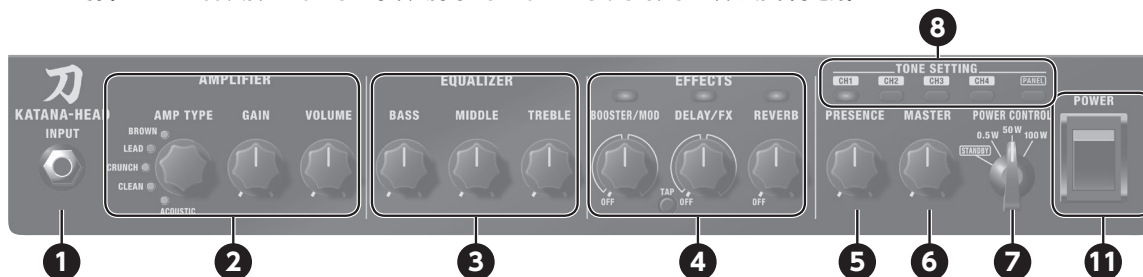
知的財産権について

- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- Roland、BOSSは、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関するTPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。

各部の名称とはたらき

KATANA-50、KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD トップ・パネル

※ 図は KATANA-HEAD です。KATANA-50 には、PRESENCE つまみ、および TONE SETTING の CH3、CH4 ボタンはありません。



KATANA-Artist フロント・パネル



トップ・パネル／フロント・パネル

1 INPUT 端子

エレキ・ギターをつなぎます。

2 AMPLIFIER

[AMP TYPE] つまみ

アンプのタイプを選びます。搭載のアンプ・タイプは、すべてオリジナルです。

タイプ	説明
BROWN	BOSSのWAZAブラウンゆずりの、エッジの効きにこだわったリード・サウンドです。
LEAD	ゲイン設定で、クランチからハイゲインまで幅広く対応できるサウンドです。
CRUNCH	ピッキング・ニュアンスに忠実に反応する、ファットなクランチ・サウンドです。
CLEAN	クリーンでナチュラルなサウンドです。BOOSTERとの組み合わせでソロやリードとして使えます。
ACOUSTIC	アコースティック・ギター接続に対応した、アコースティック・ギター専用アンプです。

[GAIN] つまみ

ゲイン（歪みの量）を調節します。

[VOLUME] つまみ

音量を調節します。

3 EQUALIZER

[BASS] つまみ

低音域の音量を調節します。

[MIDDLE] つまみ

中音域の音量を調節します。

[TREBLE] つまみ

高音域の音量を調節します。

4 EFFECTS

内蔵エフェクトを設定します。各つまみで設定できるエフェクトの種類や設定方法は『エフェクトを使う』（P.9）をご覧ください。

[BOOSTER/MOD] ボタン／つまみ

歪み系エフェクトや、モジュレーション・エフェクトを設定します。

[DELAY/FX] ボタン／つまみ

ディレイ、ワウ、トレモロ、オクターバーなどのエフェクトを設定します。

[TAP] ボタン

ディレイ・タイムを設定します。2回以上押すと、ボタンを押した間隔がディレイ・タイムになります。

[REVERB] ボタン／つまみ

リバーブを設定します。

5 [PRESENCE] つまみ 100 / HEAD / Artist のみ

中／高音域につやのある輪郭を与えます。音の抜けをよくしたいときに効果的です。

6 [MASTER] つまみ

全体の音量を調節します。

7 [POWER CONTROL] スイッチ

使う場所や用途に応じて、パワー・アンプの出力レベルを切り替えることができます。「STANDBY」に設定すると、電源を入れたまま音をミュートすることができます。ライブ演奏の合間など、ステージを離れたりするときに、ボリューム等の設定を変更せずミュートできます。

8 TONE SETTING

パネル上で設定した音色を記憶したり呼び出したりすることができます。

KATANA-50 では、計 4 音色、KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD、KATANA-Artist では計 8 音色を記憶することができます。

KATANA-50

BANK A	CH1、CH2
BANK B	CH1、CH2

KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD、KATANA-Artist

BANK A	CH1、CH2、CH3、CH4
BANK B	CH1、CH2、CH3、CH4

[BANK] ボタン Artistのみ

BANK A、BANK B を切り替えます。

メモ

KATANA-50、KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD で BANK A、BANK B を切り替えるには、[CH1] ～ [CH4] のいずれかが選ばれている状態で、[PANEL] ボタンを約 1 秒間押します。
選ばれている [CH1] ～ [CH4] のボタンが点滅し、BANK A、BANK B が切り替わります。BANK B が選ばれているときは [PANEL] ボタンがゆっくり点滅します。



※ PANEL が選ばれているときは、BANK の切り替えはできません。

[CH 1] ～ [CH 4] ボタン

[CH 1] ～ [CH 4] ボタン (KATANA-50 は CH 1 ～ CH 2) には、トップ・パネルのすべてのつまみ ([MASTER] つまみを除く) やボタンの設定が記憶されます。ボタンを 1 秒間押し続けると、パネル上の設定が記憶されます。

※ 工場出荷時のセッティングに戻すときは [PANEL] ボタンを押しながら電源をオンにします。

[PANEL] ボタン

現在のパネル上のつまみのセッティングを鳴らします。

9 [CABINET RESONANCE] スイッチ Artistのみ

接続されたスピーカー・キャビネットの響きに変化を加えます。

設定値	説明
VINTAGE	ビンテージ・キャビネットの暖かく甘いサウンドです。
MODERN	引き締まった低域が特徴の、モダンなキャビネット・サウンドです。
DEEP	迫力のある低域に加え、エッジが際立つサウンドです。

10 [LINE OUT AIR FEEL] スイッチ Artistのみ

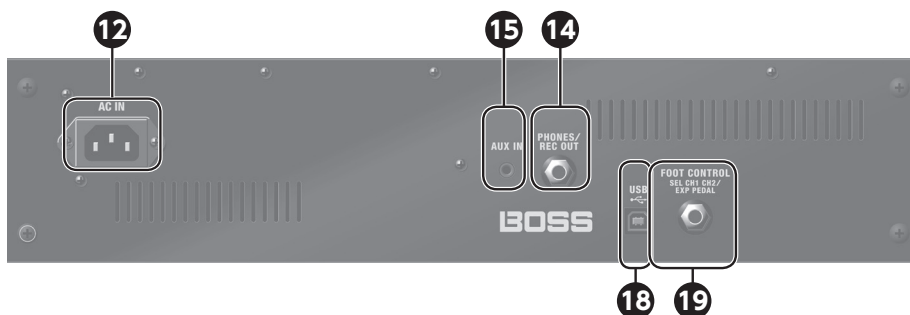
LINE OUT/PHONES/USB Primary Out (P.10) の音色を設定します。

設定値	説明
REC	レコーディング用、オフ・マイク・サウンドです。
LIVE	ライブ用のオン・マイク・サウンドです。
BLEND	ライブ/レコーディングに幅広く使えるオン・マイクとオフ・マイクをバランス良くブレンドしたサウンドです。

11 [POWER] スイッチ

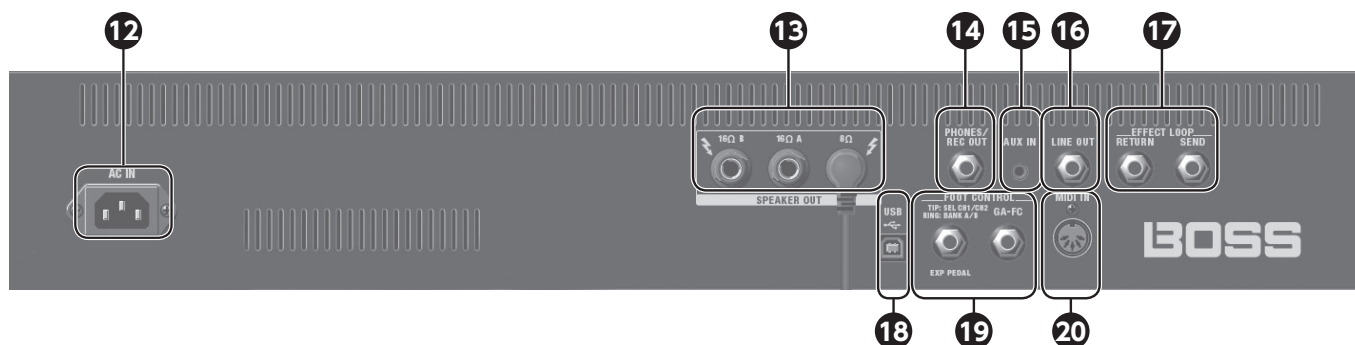
本体の電源をオン／オフします。

KATANA-50 リア・パネル



KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD、KATANA-Artist リア・パネル

※ 図は KATANA-Artist です。KATANA-HEAD の SPEAKER OUT は 8Ω 端子のみです。KATANA-100、KATANA-100/212 には SPEAKER OUT 端子はありません。



リア・パネル

12 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

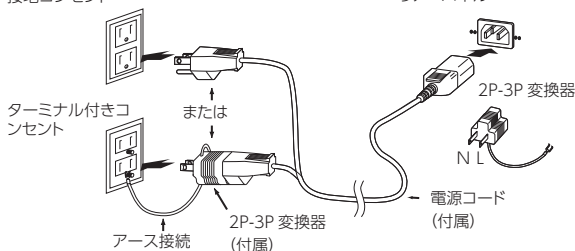
※ 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

電源コードの接続

感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。
付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。

接地コンセント

リア・パネル



コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合

そのままコンセントにプラグを差し込んでください。

コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が 2 個）の場合

プラグに 2P-3P 変換器をつけ、アース接続後コンセントに差し込みます。

※ アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。

※ アースは必ず、電源プラグをコンセントから抜いてからはずしてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

13 SPEAKER OUT 端子 HEAD / Artist のみ

スピーカー・ボックスを接続します。接続には、必ずスピーカー・ケーブルをお使いください。ギター用のシールド・ケーブルは使わないでください。

KATANA-HEAD に外部スピーカーを接続する場合

- この端子にプラグを接続したときは、本体スピーカーからは音が出ません。
- 必ず入力インピーダンスが 8Ω 以上のスピーカー・ボックスを使用してください。



KATANA-Artist に外部スピーカーを接続する場合

- 工場出荷時には、8Ω 端子に本体スピーカーが接続されています。8Ω 端子にプラグが接続されている状態では、16Ω (A / B) 端子からは音が出ません。外部スピーカーを使用するときは、本体スピーカーのプラグを、8Ω 端子から抜いてください。
- 8Ω 端子を使用するときは、必ず入力インピーダンスが 8Ω 以上のスピーカー・ボックスを使用してください。
- 16Ω (A / B) 端子を使用するときは、必ず入力インピーダンスが 16Ω 以上のスピーカー・ボックスを使用してください。



14 PHONES/REC OUT 端子

ヘッドホンを接続します。スピーカーで鳴らしたような、迫力のあるギター・サウンドが得られます。音量は [VOLUME] つまみ、[MASTER] つまみで調整します。

※ この端子にプラグを接続したときは、本体スピーカーからは音が出ません。夜間など、スピーカーから大きな音が出せないときに便利です。

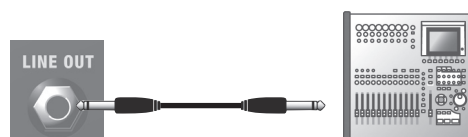
15 AUX IN 端子

CD プレーヤーや、オーディオ・プレーヤー、電子楽器などを接続し、ギターと同時に鳴らすことができます。

16 LINE OUT 端子 100 / HEAD / Artist のみ

PA システムやレコーダーなどの機器を接続します。スピーカーで鳴らしたような、迫力のあるギター・アンプ・サウンドが得られます。

レコーダー等



外部の PA システムと組み合わせたり、本体のスピーカーからの音をモニターしながら演奏をライン録音したりすることができます。

出力レベルは、[VOLUME] つまみで調節します。[MASTER] つまみは出力に影響しませんので、[MASTER] つまみを絞ってアンプ本体から音を出さずに接続機器に出力することもできます。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

17 EFX LOOP SEND / RETURN 端子

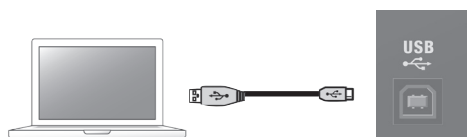
100 / HEAD / Artist のみ

外部エフェクターを接続します (モノ)。

SEND 端子に外部エフェクターのインプットを、RETURN 端子に外部エフェクターのアウトプットを接続します。

18 USB 端子

市販の USB2.0 ケーブルを使って、本機の音をパソコンに録音することができます。また、専用ソフトウェアを使って、内蔵エフェクトの設定を変更することもできます (P.9)。



パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

jp.boss.info

19 FOOT CONTROL

SEL CH1 CH2/EXP PEDAL 端子

フットスイッチ (別売: FS-6、FS-7、または FS-5L) を接続すると、BANK A、B の切り替えと、CH.1、CH.2 の切り替えが足元でできるようになります。また、エクスプレッション・ペダル (別売: Roland EV-5、BOSS FV-500L、BOSS FV-500H) を接続すると音量を変化させることができます。

GA-FC 端子 100 / HEAD / Artist のみ

GA-FC (別売) を接続して、チャンネルの切り替えやエフェクトのオン/オフなどができます。

20 MIDI IN 端子

マルチ・エフェクターや、MIDI フット・コントローラーから KATANA-HEAD をコントロールすることができます。

MIDI 受信チャンネルの設定方法

受信チャンネル	操作
CH 1	[CH 1] ボタンを押しながら電源オン
CH 2	[CH 2] ボタンを押しながら電源オン
CH 3	[CH 3] ボタンを押しながら電源オン
CH 4	[CH 4] ボタンを押しながら電源オン

※ 工場出荷時は CH.1 に設定されています。

受信データ

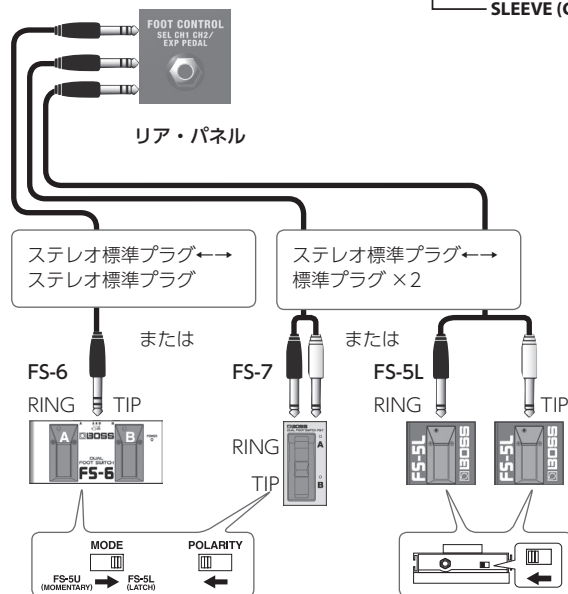
RX CH	1 ~ 4
OMNI	OFF (fixed)
PC	1 (00H): BANK A CH1
	2 (01H): BANK A CH2
	3 (02H): BANK A CH3
	4 (03H): BANK A CH4
	5 (04H): PANEL
	6 (05H): BANK B CH1
	7 (06H): BANK B CH2
	8 (07H): BANK B CH3
	9 (08H): BANK B CH4
CC	#16 FX1 SW
	#17 FX2 SW
	#18 FX3 SW
	#19 EFFECT LOOP SW
	#80 GA-FC EXP PEDAL 1 (FX)
	#81 GA-FC EXP PEDAL 2 (VOLUME)
	#82 EXP PEDAL

※ EFFECTS のつまみを操作すると、つまみの設定が反映され、上記オン/オフは無効になります。

フットスイッチを接続する

フットスイッチ (別売: FS-6、FS-7、または FS-5L) の接続

※ FOOT CONTROL 端子のピン配置



スイッチ	説明
TIP	CH1、CH2 を切り替えます
RING	BANK A、BANK B を切り替えます。

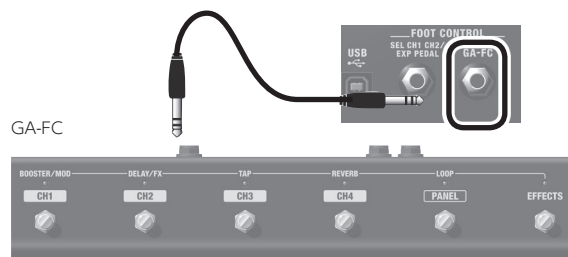
※ 本機はラッチ・タイプのフットスイッチ (FS-6、FS-7、FS-5L) に対応しています。FS-6、FS-7 使用時は A、B のモードを FS-5L (LATCH) に設定してください。モーメンタリー・タイプのフットスイッチ (FS-5U 等) は使用できません。

GA-FC の接続 100 / HEAD / Artist のみ

GA-FC 端子にステレオ・ケーブルで接続します。

※ 必ずステレオ・ケーブルを使用してください。

※ 抵抗の入っていないケーブルを使用してください。

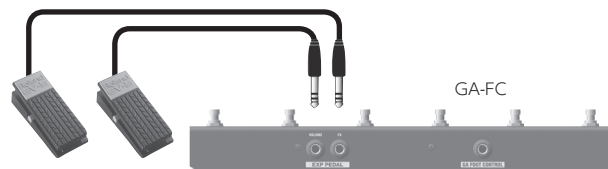


GA-FC の操作方法

TONE SELECT (CH1 ~ CH4、PANEL) の切り替えができます。また、[EFFECTS] スイッチをオンにすると、EFFECTS (BOOSTER/MOD、DELAY/FX、REVERB) のオン/オフの切り替え、ディレイ・タイムの設定 (TAP)、EFFECT LOOP のオン/オフ (LOOP) の切り替えができます。

エクスプレッション・ペダルを使う

エクスプレッション・ペダル (別売: Roland EV-5、BOSS FV-500L、BOSS FV-500H) を接続すると、ペダルを使って音量を変化させたり、WAH などのエフェクトをコントロールしたりすることができます。



エクスプレッション・ペダル

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

各部の名称とはたらき

端子	説明
VOLUME	音量を調節します。
FX	※ WAH などのエフェクトをコントロールすることができます。

エクスプレッション・ペダルの MINIMUM VOLUME を設定する

エクスプレッション・ペダルの [MINIMUM VOLUME] つまみで、ペダルを戻したときの値（最下限値）を設定することができます。

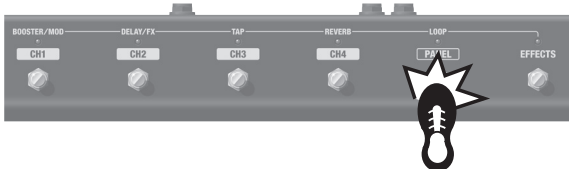
[MINIMUM VOLUME] つまみ



※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

GA-FC で BANK を切り替える

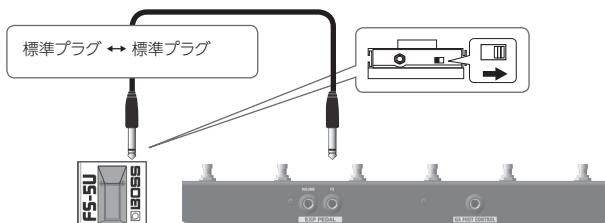
[CH1] ～ [CH4] のいずれかが選ばれている状態で、[PANEL] スイッチを約 1 秒間押します。選ばれているチャンネル [CH1] ～ [CH4] スイッチのインジケータが点滅し、BANK A、BANK B が切り替わります。BANK B が選ばれているときは [PANEL] スイッチのインジケータがゆっくり点滅します。



※ PANEL が選ばれているときは、BANK の切り替えはできません。

メモ

リア・パネルの VOLUME 端子、または FX 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U）を接続すると、BANK A、BANK B の切り替えが瞬時にできるようになります。



電源を入れる／切る

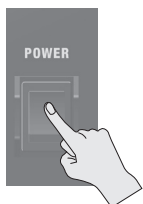
※ 正しく接続したら（P.4 ～ P.7）、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. 本機の [MASTER] つまみと、本機に接続されている機器の音量が、0 になっていることを確認します。

※ 本機の INPUT 端子に接続するときは、[MASTER] つまみを最小（左いっぱい）にしてください。

2. 本機の電源を入れます。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。



3. LINE OUT 端子、PHONES/REC OUT 端子に接続されている機器の電源を入れます。

4. 各機器の音量を調節します。

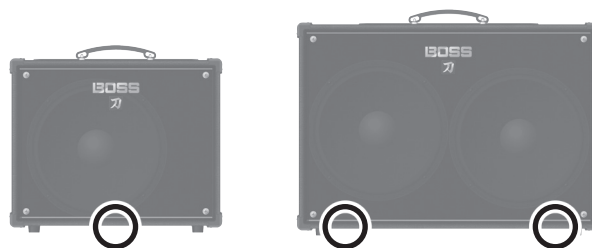
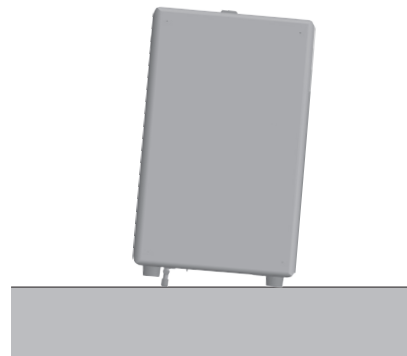
電源を切るときは、接続している他の機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと反対の手順で電源を切ります。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは『完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く』（P.2）をお読みください。

本体を傾ける

50 / 100 のみ

本機を床などの低い位置で使用する場合、スタンドを立てて使用すると、スピーカー音がより聴きやすくなります。



KATANA-50, KATANA-100

KATANA-100/212

※ スタンドは、KATANA-50、KATANA-100 には底面の中央部に 1 本、KATANA-100/212 には底面に 2 本（左右両側）あります。

※ 持ち運ぶときは、必ずスタンドをたたんでください。

※ スタンドを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

工場出荷時の設定に戻す

本体に記憶した設定を、工場出荷時の設定に戻します（ファクトリー・リセット）。

1. [PANEL] ボタンを押しながら電源を入れます。

EFFECTS の各ボタンが左から順番に、繰り返し点滅します。点滅が終了したら本体すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。



※ ファクトリー・リセットが完了するまで、約 30 秒かかります。ファクトリー・リセットの実行中は電源を切らないでください。

エフェクトを使う

KATANA アンプでは、ボタンとつまみの組み合わせで、さまざまなエフェクトを切り替えて使うことができます。同時に 3 種類のエフェクトを使うことができます。



工場出荷時に各つまみにアサインされているエフェクト

つまみ	ボタンの色	BOOSTER	MOD
	緑	BANK A BLUES DRIVE	CHORUS
		BANK B CLEAN BOOST	FLANGER 117E
赤	赤	BANK A OVERDRIVE	FLANGER
		BANK B MID BOOST	COMP
橙	橙	BANK A DISTORTION	PHASER
		BANK B TREBLE BOOST	LIMITER

つまみ	ボタンの色	DELAY	FX
	緑	BANK A DIGITAL DELAY	TREMOLO
		BANK B SDE-3000	PHASER 90E
赤	赤	BANK A ANALOG DELAY	T.WAH
		BANK B DIGITAL DELAY	FLANGER 117E
橙	橙	BANK A TAPE ECHO	OCTAVE
		BANK B MODULATE	PITCH SHIFTER

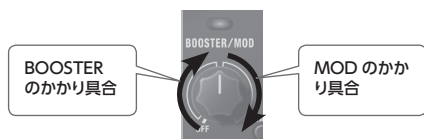
つまみ	ボタンの色	REVERB
	緑	BANK A PLATE REVERB
		BANK B TAPE ECHO + PLATE REVERB
赤	赤	BANK A SPRING REVERB
		BANK B SDE-3000 + PLATE REVERB
橙	橙	BANK A HALL REVERB
		BANK B SDE-3000 + HALL REVERB

1. [BOOSTER/MOD]、[DELAY/FX]、[REVERB] ボタンを押して、使いたいエフェクトを選びます。

ボタンを押すたびに、ボタンの色が変わります。



2. つまみを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。



※ つまみの位置により、BOOSTER または MOD のいずれかが選択されます。



※ つまみの位置により、DELAY または FX のいずれかが選択されます。



KATANA アンプ専用ソフトウェアを使う

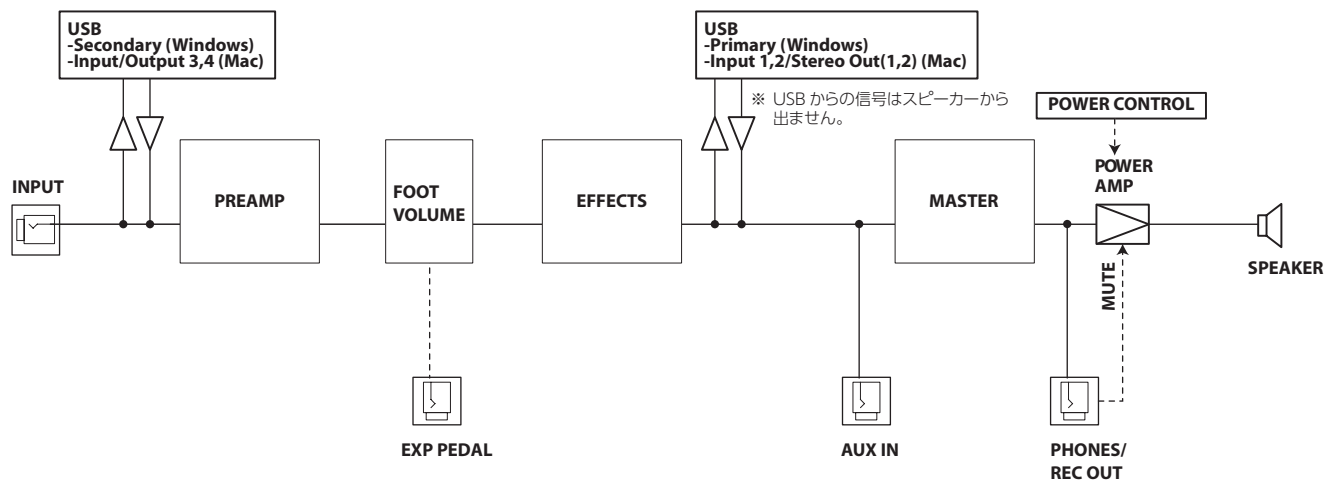
KATANA アンプを USB 経由でパソコンと接続して、専用ソフトウェアを使用することができます。専用ソフトウェアでは以下のことができます。



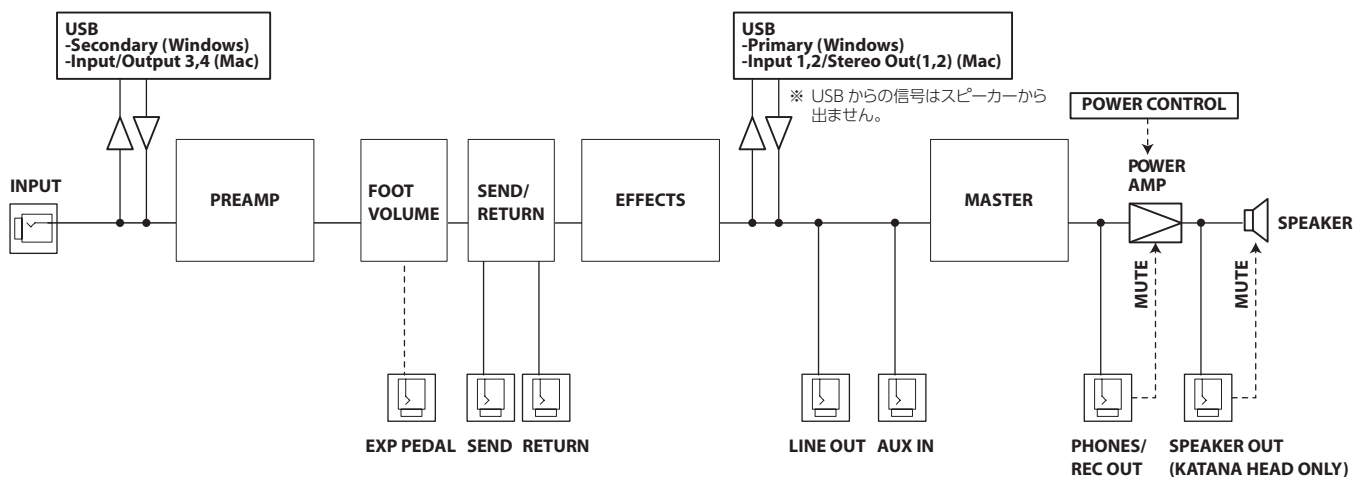
- ダウンロード・サイト、BOSS TONE CENTRAL (<http://bosstonecentral.com/>) から、専用のエフェクトを簡単に本体にダウンロードできます。
- エフェクトの設定を編集できます。
- エフェクトと本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定を戻したりすることができます。

専用ソフトウェアは、BOSS TONE CENTRAL (<http://bosstonecentral.com/>) よりダウンロードすることができます。使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme をご覧ください。

KATANA-50



KATANA-100、KATANA-100/212、KATANA-HEAD、KATANA-Artist



主な仕様

ボス KATANA-50 : ギター・アンプ

ボス KATANA-100 : ギター・アンプ

ボス KATANA-100/212 : ギター・アンプ

ボス KATANA-HEAD : ギター・アンプ

	KATANA-50	KATANA-100	KATANA-100/212	KATANA-HEAD
定格出力	50W	100W		
規定入力レベル	INPUT : -10dBu (1MΩ) AUX IN : -10dBu (20kΩ)			
スピーカー	30cm (12 インチ) ×1	30cm (12 インチ) ×1	30cm (12 インチ) ×2	EFX LOOP RETURN A / B : -10dBu 12cm (5 インチ) ×1
コントロール	[POWER] (電源) スイッチ [MASTER] つまみ [POWER CONTROL] スイッチ : STANDBY、0.5W、25W、50W < AMPLIFIER > [AMP TYPE] スイッチ : ACOUSTIC、 CLEAN、CRUNCH、LEAD、BROWN [GAIN] つまみ [VOLUME] つまみ < EQUALIZER > [BASS] つまみ [MIDDLE] つまみ [TREBLE] つまみ < MULTI EFFECT > [BOOSTER/MOD] ボタン [DELAY/FX] ボタン [REVERB] ボタン [TAP] ボタン [BOOSTER/MOD] つまみ [DELAY/FX] つまみ [REVERB] つまみ < TONE SETTING > [CH1] ボタン [CH2] ボタン [CH3] ボタン [CH4] ボタン [PANEL] ボタン	[POWER] (電源) スイッチ [MASTER] つまみ [PRESENCE] つまみ [POWER CONTROL] スイッチ : STANDBY、0.5W、50W、100W < AMPLIFIER > [AMP TYPE] つまみ : ACOUSTIC、CLEAN、CRUNCH、LEAD、BROWN [GAIN] つまみ [VOLUME] つまみ < EQUALIZER > [BASS] つまみ [MIDDLE] つまみ [TREBLE] つまみ < MULTI EFFECT > [BOOSTER/MOD] ボタン [DELAY/FX] ボタン [REVERB] ボタン [TAP] ボタン [BOOSTER/MOD] つまみ [DELAY/FX] つまみ [REVERB] つまみ < TONE SETTING > [CH1] ボタン [CH2] ボタン [CH3] ボタン [CH4] ボタン [PANEL] ボタン		
インジケーター	BOOSTER/MOD DELAY/FX REVERB TAP CH1 CH2 PANEL	ACOUSTIC、CLEAN、CRUNCH、LEAD、BROWN BOOSTER/MOD DELAY/FX REVERB TAP CH1 CH2 CH3 CH4 PANEL		
接続端子	INPUT 端子 : 標準タイプ AUX IN 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ REC OUT/PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ EXP PEDAL/CTL CH1/CH2 端子 : TRS 標準タイプ USB 端子 : USB タイプ B AC IN 端子	INPUT 端子 : 標準タイプ AUX IN 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ REC OUT/PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ SEND 端子 : 標準タイプ RETURN 端子 : 標準タイプ LINE OUT 端子 : 標準タイプ EXP PEDAL/CTL CH1/CH2 端子 : TRS 標準タイプ GA-FC 端子 : TRS 標準タイプ USB 端子 : USB タイプ B AC IN 端子		INPUT 端子 : 標準タイプ AUX IN 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ REC OUT/PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ SEND 端子 : 標準タイプ RETURN 端子 : 標準タイプ LINE OUT 端子 : 標準タイプ SPEAKER OUT 端子 : 標準タイプ EXP PEDAL/CTL CH1/CH2 端子 : TRS 標準タイプ GA-FC 端子 : TRS 標準タイプ MIDI IN 端子 USB 端子 : USB タイプ B AC IN 端子
電源	AC100V (50 / 60Hz)			
消費電力	47W	77W		
外形寸法	470 (幅) ×238 (奥行) ×398 (高さ) mm	530 (幅) ×248 (奥行) ×484 (高さ) mm	670 (幅) ×248 (奥行) ×484 (高さ) mm	470 (幅) ×228 (奥行) ×215 (高さ) mm
質量	11.6kg	14.8kg	19.8kg	8.8kg
付属品	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 ローランド ユーザー登録カード	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 ローランド ユーザー登録カード GA-FC シール		
別売品	フットスイッチ : BOSS FS-5L エクスプレッション・ペダル : Roland EV-5、 BOSS FV-500L、BOSS FV-500H	フットスイッチ : BOSS FS-5L エクスプレッション・ペダル : Roland EV-5、BOSS FV-500L、BOSS FV-500H GA FOOT CONTROLLER (GA-FC)		

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な仕様

ボス KATANA-Artist : ギター・アンプ

	KATANA-Artist
定格出力	100W
規定入力レベル	INPUT : -10dBu (1MΩ)
	AUX IN : -10dBu (20kΩ)
	RETURN IN : -10dBu (100kΩ)
スピーカー	30cm (12 インチ) ×1
コントロール	[POWER] (電源) スイッチ
	[MASTER] つまみ
	[PRESENCE] つまみ
	[POWER CONTROL] スイッチ : STANDBY、0.5W、50W、100W
	[CABINET RESONANCE] スイッチ : VINTAGE、MODERN、DEEP
	[LINE OUT AIR FEEL] スイッチ : REC、LIVE、BLEND
	< AMPLIFIER >
	[AMP TYPE] つまみ : ACOUSTIC、CLEAN、CRUNCH、LEAD、BROWN
	[GAIN] つまみ
	[VOLUME] つまみ
	< EQUALIZER >
	[BASS] つまみ
	[MIDDLE] つまみ
	[TREBLE] つまみ
	< MULTI EFFECT >
	[BOOSTER/MOD] ボタン
	[DELAY/FX] ボタン
	[REVERB] ボタン
	[TAP] ボタン
	[BOOSTER/MOD] つまみ
	[DELAY/FX] つまみ
	[REVERB] つまみ
	< TONE SETTING >
	[BANK] ボタン
	[CH1] ボタン
	[CH2] ボタン
	[CH3] ボタン
	[CH4] ボタン
	[PANEL] ボタン

	KATANA-Artist
インジケーター	ACOUSTIC、CLEAN、CRUNCH、LEAD、BROWN
	BOOSTER/MOD
	DELAY/FX
	REVERB
	TAP
	BANK
	CH1
	CH2
	CH3
	CH4
接続端子	PANEL
	INPUT 端子 : 標準タイプ
	AUX IN 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ
	REC OUT/PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ
	SEND 端子 : 標準タイプ
	RETURN 端子 : 標準タイプ
	LINE OUT 端子 : 標準タイプ
	SPEAKER OUT 16Ω A 端子 : 標準タイプ
	SPEAKER OUT 16Ω B 端子 : 標準タイプ
	SPEAKER OUT 8Ω 端子 : 標準タイプ
	EXP PEDAL/CTL CH1/CH2 端子 : TRS 標準タイプ
	GA-FC 端子 : TRS 標準タイプ
	MIDI IN 端子
電源	USB 端子 : USB タイプ B
	AC IN 端子
消費電力	AC100V (50 / 60Hz)
外形寸法	77W
質量	630 (幅) × 248 (奥行) × 515 (高さ) mm
付属品	19kg
	取扱説明書
	電源コード
	2P-3P 変換器
	保証書
別売品	ローランド ユーザー登録カード
	GA-FC シール
	フットスイッチ : BOSS FS-5L、BOSS FS-6、BOSS FS-7
	エクスプレッション・ペダル : Roland EV-5、BOSS FV-500L、BOSS FV-500H
	GA FOOT CONTROLLER (GA-FC)

※ 0 dBu = 0.775 Vrms
※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。
※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <https://www.roland.com/jp/>

ボス・ホームページ <https://www.boss.info/jp/>